神歯 Renmei Times
神奈川県歯科医師連盟
第120号
令和2年5月1日　発行
○発行人:鶴岡 裕亮　○編集人:徳永 寛司・長崎康俊　○委員:山田 剛久・飛田 暁・金井 久弥・宇佐美 貴弘　◎045(307)6555

新春の集い2020盛大に開催

気合が入る四役

令和２年２月６日（木）午後６時より、ロイヤルホールヨコハマ「ヴェルサイユ」において「神奈川県歯科医師連盟　新春の集い2020」が盛大に開催された。

川越元久常務理事の司会のもと、西山潔副会長の開会で「新春の集い2020」が始まった。はじめに鶴岡裕亮会長、松井克之県歯会長から挨拶があった。

来賓を代表して黒岩祐治神奈川県知事、小此木八郎自民党県連合会会長ならびに土井隆典同幹事長からご挨拶を頂いた。来賓、議員紹介の後、高橋英登日歯連盟会長の乾杯発声で懇談が始まった。

来賓、議員との活発な意見交換をし、有意義な集いとなり、小川淳副会長の閉会の挨拶をもってお開きとなった。

知事と固い約束

自民党県連会長の小此木衆議院議員

会員のために尽力　参議院議員　島村 大　国会報告

神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの勢いは、新緑の季節を迎えてもとどまるところを知りません。感染拡大を防ぐことを第一に、診療はもちろん皆様の暮らしにも様々な影響が出ていることと思います。このような危機的状況下においても、診療を続けてくださっている地域の先生方に心より感謝申し上げます。

歯科医療は医療のカテゴリーに入り、診療の制限はされていません。しかしながら、外出自粛等により苦しい経営を余儀なくされている診療所は少なくないと認識しています。また、日ごろから感染症対策に留意されている先生方をもってしても、この得体の知れないウイルスの感染リスクには大きな不安を抱かれているのではないでしょうか。事態の長期化も視野に入れなければならなくなってきています。

このような状況下ではありますが、私は皆様に対し、国民の健康維持のためにこれからもできる限り診療を続けて頂きたいと願っています。感染リスクへの対策を万全に整えた上で必要なことは、経営の不安を取り除く環境整備です。

政府の対策としては、雇用調整助成金（厚労省）や持続化給付金（中小企業庁）など、様々な制度を順次講じているところですが、現場にはまだまだ多くの課題が残されています。皆様が安心して歯科診療を続けられるよう、助成制度や支援策の幅広い利用を通じ、経営の安定化に向けて引き続き尽力して参る所存です。

新型コロナウイルス対策医師議員団本部

今、歯科医師が社会のためにできることは歯科医師の役割をしっかり果たすことだと私は考えます。今こそ歯科医療界が一丸となり、県民国民ファーストの精神でこの事態を乗り切りたい。歯科医師の国会議員として、神奈川県歯科医師連盟の皆様に、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

「マスク・グローブ及び消毒液の優先供給願い」

～本連盟と本会が共働し、県議会議長及び歯科議連に要望書～

今般の新型コロナウイルス感染症拡大という事態を受け、本会所属会員の歯科医療機関では、感染症対策に万全な体制をとるべくマスク・グローブ及び消毒液が品薄状態から十分な確保が困難となっている。これは、地域歯科医療を守る拠点である歯科医療機関における衛生管理の不確実性を断固防がなくてはならない。本連盟と本会は共働し、県議会議長並びにオーラルフレイル対策議員連盟に３月12日、要望書を提出した。今後は経営面のサポートもできますよう引き続き要望していく。

継続して活動　～会員のために地域医療補助金申請～

これまで連盟会員に対して、５年間にわたり年間100診療所に100万円規模の事業を行い、総額５億円近い補助金を会員に届けた。

５か年事業のため、いったん終了とはなったが、新入会員向けの事業に衣替えして新たな事業（事業案１）として申請する予定だ。

また、オーラルフレイルの検査および訓練を歯科医院が実施するためには高額な専門機材が必要であるが、多くの歯科医療機関は有していない。

その購入費用の補助金を事業（事業案２）として申請する予定だ。

（事業案１）**在宅歯科医療設備整備事業**
（入会５年以内診療所向け）

・在宅歯科を新たに始める歯科医療機関に対する在宅歯科用の設備整備事業。主に連盟入会後５年以内の会員を優先に、在宅歯科器材購入資金の３分の２を補助。

（事業案２）**オーラルフレイル検査機器整備事業**
（全診療所向け）

・オーラルフレイル（口腔機能低下症）の検査および訓練を歯科医院が実施するためには高額な専門機材が必要であるが、多くの歯科医療機関は有していない。購入費用の補助金を事業化する。

新型コロナウイルス感染症で経営が不安の会員の皆様へ

～支援が受けられる場合についてまとめました～

売上が縮小したが、家賃等の固定費の変わらず辛い

最大200万円まで給付金を支給します

新たに持続化給付金を創設し、**法人**には**最大200万円**、**個人事業主等**には**最大100万円**、**事業全般に広く使える**給付金を支給。

※制度の詳細については、4月最終週を目途に確定・公表します。

売上減少に伴い、当面の運転資金を調達したい

コロナ特別貸付やセーフティネット保証等があります

新型コロナウイルス感染症特別貸付は、当初3年間は、利子補給で金利負担が**実質的に無利子**となる制度。さらに、信用保証付きで民間金融機関から借入を行う場合も**実質的に無利子化**の対象に。

従業員を一時的に休業させたいが、手当の支払いが大変

雇用調整助成金で手当の一部が助成されます

休業手当等について、**4/5**（解雇等を行わない場合は、**9/10**）を助成。　※中小企業の場合

税金や保険料、の支払いが負担になっている

税・社会保険料の納付が猶予されます

ほぼ全ての**税・社会保険料**を対象に**無担保**かつ**延滞税なし**で**1年間納付を猶予**。さらに**公共料金関係**の支払いについても猶予。

業務効率化のために設備・システムを導入したい

IT導入補助が活用できます。

IT導入補助で**業務効率化**のための**システム導入**を支援。
※1 中小企業・小規模事業者が補助対象です。
※2 法人格のない任意団体は補助の対象外となります。

※各支援策には、売上高減少等の一定の要件があります。
※一部事業は、令和2年度補正予算の成立を前提としており、今後事業内容が変更等される場合があります、

【まずはお近くの経営相談窓口までご相談ください】

お近くの経営相談窓口はこちらからご確認下さい。

本資料は経済産業省HP特設ページに掲載しております。
https://www.meti.go.jp/covid-19/
経済産業省 新型コロナウイルス感染症関連

【またメルマガ・SNSでも随時情報発信中です。ぜひご登録ください】

■メルマガ
e-中小企業
ネットマガジン

■Twitter
中小企業庁
@meti_chusho

■LINE
経済産業省
新型コロナ
事業者サポート

資料提供：山田宏参議院議員

「山田 宏　総理に質問」

～国民皆歯科健診実施へ～

「生涯を通じた歯科健診の充実というものを今後どのように実現していくのか？」

参議院予算委員会にて、山田宏参議院議員が質問に立った。

安倍総理は「子供から高齢者まで健康で充実した生活を送るためにも口腔の健康というのは極めて重要である。」とし、「期限を定めて、生涯、全国民が歯科健診を受けられるような全国民皆歯科健診制度の実現に向けて検討していただきたい」との山田参議の要望に対し、「よく検討していきたい」と発言した。

また、稲津久厚労副大臣は、「平成30年度から歯科健康診査推進事業において効果的効率的な歯科健診の実施方法等の検討を行っており、引き続き市町村等において普及定着するように取り組みたい」との考えを示した。山田参議は「会社員へのアプローチとして労働安全衛生法の中の一般健診項目に歯科を入れるべきだ」と主張した。

オーラルフレイル対策拡大

～県議会にて頼りになる県議活躍～

田中信次議員（泉区）

Q：地域包括ケアシステムにおける言語聴覚士（ST）の活用促進について

健康医療局長

A：当事者はもとより、同じ口腔ケアに関わる歯科医師の他、医師、訪問看護師など幅広い職種から意見を伺い、活躍できるよう関係団体とも連携し、しっかり取り組んでいきたい。

要望「県が歯科医師会と医師会との橋渡し役を担っていただきたい」

高橋栄一郎議員（保土ヶ谷区）

Q：在宅医療における医科歯科連携の推進について

県知事

A：「歯と口腔の健康は、食を通じた未病改善を図る上で大変重要であり在宅医療を行う医師と歯科医師が患者の情報を相互に共有するなど、医科歯科連携の充実についても検討していく」

枡晴太郎議員（茅ヶ崎）

Q：オーラルフレイル対策について

オーラルフレイル健口推進員の養成を行い普及啓発活動を行っているが、今後どのようにオーラルフレイル対策に取り組んでいくのか？

県知事

A：平成28年度に有識者や研究機関と検討会を立ち上げ、オーラルフレイル改善プログラムを策定するとともに、市町村と連携した大規模検証を行うなど、全国に先駆けて対策を進めてきました。

そこで、**改善プログラムを実施している歯科医師を講師**として、より実践的な講習を行っていきます。

また**改善プログラムを実施する際に必要となる機器を貸与**、歯科医療機関の拡大を図っていきたいと考えている。県内のどこに住んでいても『歯と口腔の未病改善』を行えるよう、しっかりと取り組んでいく。

「国民皆歯科健診を実現する議員の会」発足

昨年12月10日に、各界を代表する自民党有志議員により「国民皆歯科健診を実現する議員の会」が発足、古屋圭司元国務大臣が会長、山田宏参議院議員が事務局長に就任した。

第１回勉強会では、糖尿病内科医の西田亙先生による歯科の重要性についての講義があり、活発な議論が行われた。

今後は、議員連盟として拡大し、骨太方針にある「生涯を通じた歯科健診の充実」を法文化すべく活動を展開するそうだ。大いに期待、応援したい。

「第44回定時評議員会」開催延期

新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、令和２年度の事業計画、予算を審議する第44回定時評議員会を関係者の健康・安全面を第一に考慮し延期した。それに伴い、常務理事会からの提案として書面による議決権行使書を評議員に発信し、下記の通り承認された。

〈承認事項〉

①令和２年度事業計画（案）及び予算（案）は、本年６月に開催いたします第44回・第45回定時評議員会にて改めてご審議いただきます。

②令和２年度予算（案）は本年４月から６月までに本連盟事業執行に最低限必要な予算を暫定予算として計上し仮予算を執行させていただきます。

予　告　６月18日（木）
第44回・第45回評議員会開催

予　告　10月15日（木）
島村大君を励ます会　ザ・キャピトルホテル東急